

テセントリク(30分)+Avastin(30分)療法

【呼吸器科】99【非小細胞肺癌】

(第 コース目)

*網かけ部分は必須記入事項

診療科:	病棟:
医師名:	印

身長:	cm	体重:	kg
体表面積:	m ²	Cr:	mg/dL

■レジメン 下記が1コースの投与スケジュール : 3週ごとを1コースとする

Day	1	8	15	~21
施行日	/	/	/	/
テセントリク	↓	休薬	休薬	
アバステン	↓	休薬	休薬	

■投与順序 ※マークは同タイミング投与薬あり

滴下順	
①	生食 50mL 10分
②	●テセントリク注【 】mg 生食 250mL 30分
③	●アバステン注【 】mg 生食 100mL 30分
④	生食 50mL 10分フラッシュ

■投与量 ※投与量の参考

薬剤名	標準投与量
テセントリク	1200mg/Body
アバステン	15mg/kg mg/Body

入力 薬剤師	看護師	看護師

■注意・確認事項

- 点滴セットはフィルター付き輸液ルートを使用すること。
- 致死性の喀血等重篤な副作用が起こることがある。
- アバステンは喀血(2.5mL以上の鮮血の喀出)の既往のある患者は禁忌、脳転移を有する患者は原則禁忌である。
- アバステンとブドウ糖溶液を混合した場合、アバステンの力価の減弱が生じるおそれがあるため、ブドウ糖溶液との混合を避け、アバステンとブドウ糖溶液の同じ点滴ラインを用いた同時投与は行わないこと。
- テセントリク、アバステンの投与に関して30分投与の忍容性が確立されていることを確認すること。